

地域福祉推進業務〔予算額 84,978千円〕

福祉部ふくし相談課
つながり支援係(23-6774)

財源内訳 国庫支出金 21,630千円、県支出金 17,000千円、繰入金 24,210千円、諸収入 2,200千円、一般財源 19,938千円

地域福祉を推進するため、高齢者と子どもの多世代交流の場を充実します。

拡充 地域子育て支援拠点事業

既存施設で新たに地域子育て支援拠点事業を実施します。

【実施施設】

高齢者センター岡崎(とはなす岡崎)
 中央地域福祉センター(とはなす中央)
 北部地域福祉センター(とはなす北部)
 南部地域福祉センター(とはなす南部)
 西部地域福祉センター(とはなす西部)
 東部地域福祉センター(とはなす東部)

【事業内容】

子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
 子育て等に関する相談、援助の実施
 地域の子育て関連情報の提供
 子育てと子育て支援に関する講習等の実施
 +
 高齢者等の多様な世代との交流

生活困窮者支援等のための地域づくり事業

①子ども食堂防災拠点化推進分

子ども食堂が、災害時でも対応できる(有事の際には防災拠点となり得る)ことを目指し、子ども食堂の防災拠点化を推進します。

■子ども食堂防災研修、炊き出しイベント支援、防災備蓄の充実 など

②学習支援分

学習支援会場において食事の提供を実施するとともに、参加児童の困りごとに寄り添い、その気持ちに配慮しつつ地域の支援者や支援機関等とのつながりづくりを促進します。

■市内 10 会場で2か月に1回の食事提供

子ども食堂等運営費支援金

子ども食堂などを運営する団体に対し、開催頻度に応じて支援金を交付します。

- 1回以上/週 400 千円
- 2回以上/月 240 千円
- 1回/月 80 千円



福祉部ふくし相談課
地域支えあい係(23-6986)

地域包括支援センター支援業務〔予算額 582,139千円〕

財源内訳 国庫支出金 224,123千円、県支出金 112,061千円、繰入金 133,893千円、一般財源 112,062千円

地域包括支援センターは、岡崎市が設置している高齢者等の総合相談窓口です。高齢者の介護サービスだけでなく福祉サービス、地域活動への参加など多様な機関と連携して、ご本人、ご家族の相談に応じています。また、地域の見守りや支えあい活動など、様々な人や団体、事業者、法人等の活動をつなぐことで、住みやすいまちづくりを目指しています。

市内
20か所

お悩み・お困りごとの相談窓口

高齢者やその家族、地域で気になる方の健康・福祉・介護などのお悩みやお困りごとの相談に対応します。



最近足腰が弱って、身の回りのことができなくなってきました…

必要な方には介護保険制度やサービスの利用の支援を行います。



介護予防活動でずっと元気に！

健康維持や介護予防のための教室や通いの場を案内します。

岡崎ごまんぞく体操を知っていますか？

自分らしい生活を送るには日常に必要な筋力を鍛えることが大切です。岡崎市では椅子とおもりをを使った筋力体操を推進しています。



介護者への支援

介護教室や家族の会の開催

家庭における介護方法等を学んでいたため介護教室や、介護の大変さや悩みを介護者同士で語り合うことができるように高齢者を支える家族の会を開催しています。



権利を守る

お金の管理が不安な方へ

財産管理や日常の契約が不安な方へ成年後見制度の利用を支援します。

消費者被害

被害に遭われた場合は警察や消費生活センターなどと協力して対応します。

高齢者虐待

虐待が疑われるときは、ご連絡ください。第三者が介入することで、虐待の深刻化を防ぐことができます。

認知症と向き合う・支え合う

認知症の方やその家族が暮らしやすい地域を目指して活動しています。

- 高齢者が道に迷ってたけど…
- 認知症になるとどうなる？



認知症に関する相談やサポーター養成講座など様々な取り組みをしています。

ふじいろサポートチーム（認知症初期集中支援チーム）
専門家チームが適切な医療機関受診や介護サービスにつなぐなど、早期対応の支援をしています。

暮らしを支える地域

地域の様々な関係機関と連携しながら、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるように話しています。

協議体の開催

総代や民生委員等の地域役員の方々と一緒に、居場所づくりや地域での支え合い活動の推進等について検討しています。



高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務〔予算額 37,924千円〕 介護予防事業対象者把握業務〔予算額 4,441千円〕 ※介護保険特別会計		福祉部長寿課 予防係(23-6837)
財源内訳	諸収入 37,459千円、一般財源 465千円 【介護保険特別会計】保険料 583千円、国庫支出金 1,291千円、支払基金交付金 1,172千円、県支出金 543千円、繰入金 753千円、諸収入 99千円	

拡充

高齢者の健康寿命の延伸に向け、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。令和5年度から開始した本事業は、これまでの実績の効果検証の結果を踏まえ、令和8年度より既存のハイリスクアプローチの内容に低栄養を追加し効果的に支援を実施します。



【取組内容】

企画・調整

- 医療、健診、介護データの分析による健康課題の抽出
- 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の外部機関との協議
- 庁内各課との調整、連携
- 広域連合との事業調整

ハイリスクアプローチ

- 「後期高齢者の質問票」による健康状態不明者の把握、介護予防事業等への参加勧奨
- 重症化予防 
- 糖尿病性腎症、口腔機能低下症、低栄養（拡充）
- 薬剤適正化に向けた服薬指導

ポピュレーションアプローチ

- ごまんぞく体操等の通いの場における普及啓発、健康相談
- 講演会（薬剤適正化、口腔フレイル等）
- 介護予防教室、栄養教室、出前講座等
- 健診、かかりつけ医受診勧奨

予防接種業務〔予算額 1,824,897千円〕

保健部ワクチン接種推進室
予防接種係(23-6714)

財源内訳 使用料及び手数料 21千円、国庫支出金 53,447千円、県支出金 10,254千円、諸収入 132千円、一般財源 1,761,043千円

新規

RS予防接種(定期接種)

RSウイルスは世界中に広く分布しており、生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%が感染するといわれています。小児におけるRSウイルス感染症の予防を目的に、妊婦のかたにRS予防接種を定期接種として実施します。

■対象者：接種日に妊娠28週0日から36週6日までの妊婦

■接種費用：無料

■接種方法：

妊娠届出時に接種券を配布しますので、対象となる妊娠週数の範囲内の日時に事前に協力医療機関に予約の上、母子健康手帳と接種券を持参し協力医療機関で接種

■開始時期：令和8年4月から

■主な予算：RS予防接種委託料 77,392千円



変更

高齢者肺炎球菌予防接種(定期接種)

高齢者肺炎球菌予防接種(定期接種)に用いるワクチンが、23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン(PPSV23)から沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)に変更されます。PCV20は、抗体産生だけでなく免疫記憶を誘導する作用があり、予防効果が長期間持続するといわれています。

■対象者：接種日に65歳及び60歳以上65歳未満で一定の障がいをお持ちのかた

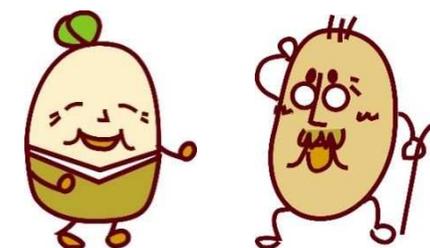
■接種費用：課税世帯のかた 4,000円、非課税世帯・生活保護世帯のかた 無料

■接種方法：

対象者に接種券を送付しますので、事前に協力医療機関に予約の上、接種券を持参し協力医療機関で接種

■変更時期：令和8年4月から

■主な予算：高齢者肺炎球菌予防接種委託料 15,812千円



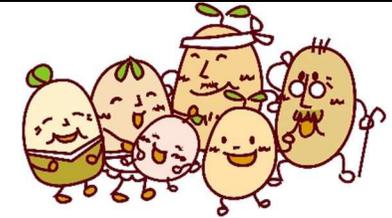
不妊治療・不育症検査補助業務〔予算額 15,305千円〕

保健部健康増進課
 歯科・栄養係(23-6962)

財源内訳 国庫支出金 152千円、県支出金 7,500千円、一般財源 7,653千円

新規

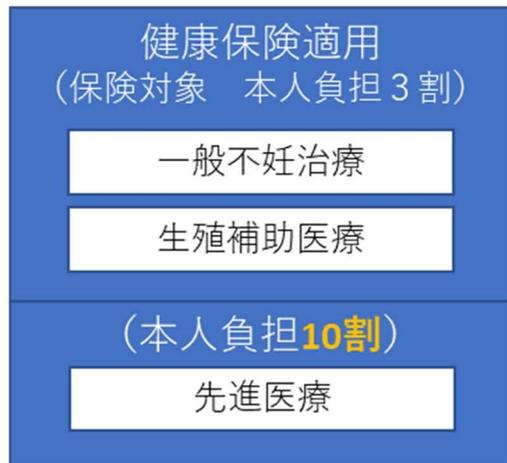
◎不妊治療に係る保険適用外の先進医療の7割相当を補助し、
 不妊に悩む人の経済的負担軽減を図ります。



【不妊治療の補助】※令和8年4月1日以降に開始した治療を対象

対象費用	助成額	予算	内訳
保険適用とされている体外受精 及び顕微授精と併用して実施した 先進医療に要した費用	補助対象経費の10分の7に相当 する額(上限5万円)	15,000千円	県:2分の1 市:2分の1

【令和7年度まで】



【令和8年度】



新たな補助制度
 により、
 本人負担を軽減へ！

地域医療体制の充実〔予算額 4,054,678千円〕

岡崎市民病院総務課
財務マネジメント係(66-7015)

財源内訳 一般会計負担金 104,060千円、企業債 3,330,000千円、国庫補助金 2,292千円、県負担金 85,800千円、自己財源 532,526千円

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院として医療水準の確保及び多様化高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図るほか、施設内の改修工事や高度医療機器の整備を行います。

施設改修や設備の更新

〔予算額 3,526,176 千円〕 以下は主な改修工事等となります。

- ★電子カルテや医事会計を含む約 60 のシステムで構成される「統合情報システム」の更新を行います。
- ★令和9年度中の完成に向けて結核感染症病棟の整備を進めます。
- ★療養環境の向上を図るため5階南病棟の病室改修及び空調自動制御設備の改修を行います。

医療機器の整備・充実

〔予算額 528,502 千円〕 以下は購入予定の主な機器となります。

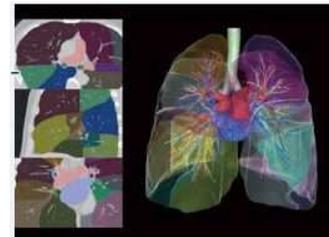
高度な医療を提供できる病院として医療機器を整備することにより、市民の信頼に応えていきます。

☆全身用エックス線CT診断装置



細かい部分まで写せる高画質、短時間での撮影、広い範囲を一度に撮れる機能に加え、異なるエネルギーのエックス線を使う撮影、深層学習を用いた画像処理、撮影範囲調整及び条件設定の自動化技術を備えており、被ばくを抑えつつ、より精密で正確な診断が可能となります。また、AIによる自動化で検査の手間を軽減し、医療従事者の負担軽減や検査効率の向上にも寄与します。

☆画像診断装置ワークステーション



主にCT画像を用いて、AIで心臓、肝・胆・膵、腎、脳、肺、大腸などの臓器や血管を自動抽出し、肺の血管分離も可能となります。短時間で高精度の術前シミュレーション画像を作成でき、診療精度の向上に貢献します。